

# 川崎市聴覚障害者情報文化センターだより

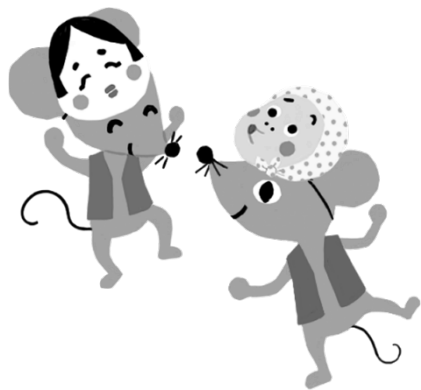
## 新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和2年の清々しい元旦をお迎えになられたことと存じます。

昨年中は、川崎市聴覚障害者情報文化センターの事業に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は、手話通訳による「遠隔機器コミュニケーション支援事業」を試行的であるものの新たな事業として受託しました。この事業は、聴覚障害者と各区役所・支所の職員が窓口等でコミュニケーションを図るときに、区役所に配備されているタブレットを通じて当センター職員による手話通訳をご利用いただけるものです。皆様の積極的なご利用をお願いいたします。



今年は次期指定管理の募集が始まります。指定管理料の増額を実現することができるのかどうか、また、「非公募更新制」による「非公募」となるのかどうか注目する年でもあります。少しでも前進することができるよう微力ながら努めて参りたいと思いますので、一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、みなさまのご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

施設長 尾上 秀夫

## 第13回川崎市聴覚障害者情報文化センターまつり日程決定！



毎年皆さんが楽しみにしている、川崎市聴覚障害者情報文化センターまつり（以下、センターまつり）。来年度は **5月31日（日）** に開催する予定です。

センターまつり開催の目的は以下の2つです。

- ・川崎市聴覚障害者情報文化センターの存在や、提供している福祉サービス等を一般市民に知っていただく
- ・一般市民に利用団体の活動紹介をすると同時に、交流を深める



当日は補聴器相談やろうの弁護士相談、医療相談・情報提供コーナーの他、福祉機器展、模擬店、人形劇団のパフォーマンスなど多くの企画を予定しています。



参加費は無料、どなたでも参加できます。皆さまのご参加をお待ちしております！

※写真は昨年センターまつりの様子です

## ● ろう者・難聴者のための健康学習会 ●

平成15年から始まった、中原区役所地域みまもり支援センター高齢・障害課と一緒に開催する、年に一度の健康学習会が12月10日（火）にありました。

今回のテーマは「いつまでも元気に暮らすために」サブテーマが「～出かけよう・運動しよう・人と会おう～」です。

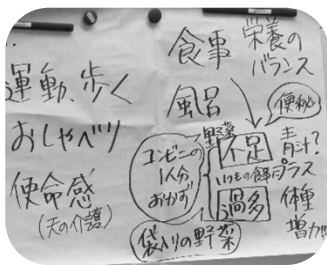
初めに自分のこの1週間、どこに行き、誰と会い、何を話したかを思い出しながらワークシートに記入しました。ほとんどの人が、ほぼ毎日出かけていることがわかりました。

思い出せずに、手帳を出して記入している人もいました。

その上で、すみよし地域包括支援センターの看護師である、米川さんの講話です。外出することのメリット、出かけることで、体力の向上、孤独感の解消を図ることができるそうです。わざわざ遠くに出かける必要はなく、1日20～40分くらい、新聞や郵便を取りに行く、買い物ついでのウォーキングなど、特別な運動でなくても、日常動作も含めて歩くことが大切なようです。



肩を動かすイメージ！



↑書き出された皆さんの意見です

悪天候などで出かけられない時に、家の中で行う体操も教えていただきました。椅子に座って、ももの上げ下げをすることが家にいるからのウォーキングになります。

その後、同じくすみよし地域包括支援センター長の大家さんから「地域包括支援センター」の説明をしていただきました。自分の地域の地域包括支援センターはどこだろうと、皆確認していました。

後半はろう者・難聴者のグループに分かれて、グループワークです。30分の時間があつという間に過ぎるくらい、白熱して話し合っていました。それぞれのグループからの発表で、これからの生活に役立てたいことや、地域包括支援センターにいざというときには相談できることを知り、心強くなったなどの報告がありました。



ひとりの疑問もみんなて解決！盛り上がりました

## ● 聴覚障害者災害訓練、聴覚障害者福祉講座 ●

9月29日（日）に、川崎市内の各区（7か所）に分かれ、聴覚障害者災害訓練を実施しました。今年度は250人の参加がありました。メール送受信による安否確認訓練、避難所の確認と同じ避難



聴覚障害者福祉講座での発表の様子

所の仲間の確認、そして各区独自のプログラムを実施しています。この各区の取り組みを、11月3日（日）の聴覚障害者福祉講座の場で発表、共有しました。川崎市では、台風19号による被害があり、実際に避難所に避難した聴覚障害者もいました。ご自宅のすぐ近くまで浸水があった方もいました。大きな被害を受けた聴覚障害者はいなかったようですが、今後も大型台風が来る可能性を踏まえ、より具体的に備えていかなければいけないと考えています。

## ● 補聴器とコミュニケーションの講座を開催します ●

日時：2020年2月7日、14日、21日、28日

13:30～15:30

※毎週金曜日に、連続4回の講座です。

会場：さいわい健康福祉プラザ



↑ 体験談の講義の様子（中原区開催）

宮前区、中原区の開催に続き今年度3回目になります。

4週の連続講座で、第1・2回が補聴器について専門家に講義していただきます。皆様の補聴器に関する質問、聞きたいことに答えます。

第3回が難聴者の体験談、補聴器の限界を補うためのコミュニケーション方法（読話・手話）の体験。

第4回が聞こえを助ける福祉機器の紹介、難聴者当事者団体の紹介、聴覚障害者情報文化センターの利用についての紹介、という内容になっています。

NPO法人川崎市中途失聴・難聴者協会のスタッフが、受付や講座の担当をしています。同じ難聴者として参加者と交流をしています。高齢化に伴い、聞こえでお悩みの方が増えています。是非講座に参加して、コミュニケーションをもっと楽しみ、明るく元気に生活できるようにしてみませんか。

**聞こえないのはあなた一人ではありません。**

**きっと仲間が見つかります。**

### ■申し込み方法■

お電話・FAX・はがき  
または、直接当センター窓口まで

【締切】 1月31日（金）

【定員】 30名

## ● 現任研修報告 ●

### ＜手話通訳者現任研修＞

10月25日（金）に、「電話通訳」をテーマとした研修を行いました。2つのグループにわかれ、電話をかける前に確認することや、電話中、電話を終えた後に気をつけること等について話し合い、発表しました。NPO法人川崎市ろう者協会にもご協力いただき、電話通訳を利用する立場であるろう者の意見も聞くことができ、あらためて、電話通訳の難しさや意識すべき点等について考える機会となりました。ご協力くださったみなさま、ありがとうございました。



### ＜要約筆記者現任研修＞

9月22日（日）・11月20日（水）に登録要約筆記者現任研修を実施しました。9月22日は「要約筆記利用ハンドブック」をテーマに全国難聴者・中途失聴者団体連合会（以下：全難聴）の藤谷弘晃氏からご講演をいただきました。全難聴より昨年発行された「要約筆記利用ハンドブック」発刊の目的や各章のポイント、藤谷氏自身が要約筆記利用者として思うことなどをお話しいただきました。11月20日は「報告書の書き方」をテーマに全国要約筆記問題研究会理事長の三宅初穂氏をお迎えして、講義とグループワークが行われました。報告書の目的や効果を踏まえた上で、4つの事例をグループに分かれて個人ワーク（実際に報告書を書く）とグループワークを行った後、全員で振り返りを行いました。難聴者の思いをくみ、日々の活動をしっかり振り返りながらこれからも活躍していただきたいと思います。

## ●統一試験実施の報告●

12月7日(土)、当センターを会場として「手話通訳者全国統一試験」を実施しました。通訳Ⅲ受講生全員を含む、計12名が受験しました。受講生をはじめ、通訳Ⅲの講師担当者、そして統一試験対策講座でご協力いただいたNPO法人川崎市ろう者協会、川崎市登録手話通訳者団のみなさま、本当におつかれさまでした。



### 研修を実施しました

#### ●警察官対象の研修報告●

高津警察署(7月25日)、宮前警察署(9月19日)、多摩警察署(10月29日)に当センターの相談員がお伺いし「聴覚障害者への理解と配慮」についての研修を行いました。この研修は、毎年行っているもので、警察官の皆様は聴覚障害者のことを知っていただく機会となっています。ろう者と難聴者ではコミュニケーション方法が異なっていること、読話や口話といった方法は読み取りの間違いが起りやすいことなどをお伝えし、必要な場面では手話通訳のご依頼をいただくようお願いしています。



#### ●消防局職員対象の研修報告●

11月7日(木)、8日(金)の2日間、川崎市消防局救急隊員生涯教育研修において聴覚障害理解に関する講義を行いました。過去2年間は救急救命士向けの研修でしたが、おおかた受講が済んだということで、今年度は救急隊員、消防隊員の皆さんが対象となりました。当事者団体からろう者、難聴者各1名、情報保障者(手話通訳者及び要約筆者)も合わせた計8名で伺い、前半はレクチャー、後半は当事者のミニ講演とコミュニケーション実習を行いました。

コミュニケーション実習では隊員が自分の言いたいことを書くばかりでなく、患者から聞き取った(隊員が受け取った)内容も文字にすることで、聴覚障害者がきちんと伝わったことが確認できること、体調の悪い時には白い紙に太いペンで大きく書いてほしいこと、目を合わせて対応してほしいことなどろう者・難聴者から実際のやり取りをもとにした希望を伝えることができ、充実した2時間となりました。このような機会を継続し、消防局内での理解が広まることを願います。

#### ●行政職員対象の研修●

川崎市の行政職員対象の聴覚障害に関する研修を11月7日(木)の午後開催しました。福祉に係わる部署に限らず、様々な部局や区役所からの参加がありました。今回の目玉はセンター内のスタンプラリーで、初めての試みでした。センターのあちこちに出没する「しずく君」が、様々な説明をしてくれます。例えば「上からの人と下からの人がぶつからないように鏡があるよ(階段踊り場の鏡の説明)」など。センターに来た時、皆さんも見つけてみてください。「しずく君」をたどりながら、聴覚障害のある人が利用しやすい工夫がされた施設であることを知ってもらいます。

また、ろう者・難聴者の違いを理解するために当事者のお話も聞いてもらう機会を作りました。NPO法人川崎市ろう者協会とNPO法人川崎市中途失聴・難聴者協会のご協力をいただきました。研修の最後は、10月から始まった「遠隔機器コミュニケーション支援事業」のデモンストレーションです。

参加者代表の方が、タブレットを使って、実際の遠隔手話通訳を試されました。音声も画像もクリアで、成功しました。この研修に参加された方が、ご自分の部署に戻って利用を広めてほしいと思います。

今年度は更に、1月28日(火)にも2回目の研修を行います。この研修によって、聞こえない市民の存在、その対応について、理解を深めていただき、職員の方々に広がることを期待しています。



## ● 研修・会議などへの職員参加報告 ●

### ＜全国要約筆記問題研究集会秋季大会＞

10月19日（土）広島大学東千田未来創生センターで「2019年度 全国要約筆記問題研究集会秋季大会」が開催されました。式典の後に行われた分科会では第1分科会の「運動論」に参加しました。「聴覚障害者の権利保障は進んだか」を大テーマに、「意思疎通支援事業」・「政見放送字幕」・「地域からの報告と情報交換」の3つテーマで講演と意見交換が行われました。法律改正などで権利保障が進んだと思う面もあれば、まだまだ課題が残る面もあります。聴覚障害者を取り巻く環境が少しでも良くなるように動向を見守りたいと思います。

### ＜関東ろうあ者相談員連絡会＞

10月4日（金）、社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会特別養護老人ホームななふく苑にて第3回関東ろうあ者相談員連絡会が開催されました。まず、ななふく苑の速水千穂施設長の案内で施設見学をさせていただき、施設の概要についてご説明いただきました。次に、相談部の高橋美佳主任より「介護保険制度の活用と相談員の役割」ということで、介護保険制度・要介護認定の仕組み・認定調査・主治医意見書・ななふく苑の取り組みなどについてご講演いただきました。また、全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会作業部会として、障害者生活支援体制加算の充実について厚生労働省に働きかけを行ったことなど具体的な話もあり、充実した1日となりました。

### ＜全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会＞

11月16日（土）～17日（日）、立命館大学大阪いばらきキャンパスにて開催された、第23回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会に参加してきました。

全体講座では施設建設運動を振り返りながらこれからの実践や事業所運営について、「これからの福祉を考える～ろうあ者の願いを原点に実践と運動を」をテーマに4名のトークセッションが行われました。その後は第5分科会第1分散会「高齢聴覚障害者の暮らしを地域で支える」に参加し、7本のレポート発表を拝聴しました。共同研究者の大矢暹氏、廣田しづえ氏から頂戴した1つ1つのコメントが大変貴重なもので、実りの多い2日間となりました。

### ＜全日本難聴者・中途失聴者団体連合会福祉大会＞



滋賀県大津市、琵琶湖のほとりにある、ピアザ淡海という会場で11月23日（土）～24日（日）、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会福祉大会 in 滋賀に参加しました。

400名が集まったとのことで、1日目は分科会。参加した第1分科会は「あなたの知らない聞こえの世界、これからの聞こえの健康支援とは何か」というテーマで4名のパネリストの発表とシンポジウムがありました。

パネリストの中には、難聴で人工内耳装用の耳鼻科医、同じく難聴で、聴覚障害者の心理の研究をしている大学教授もいらっしゃいました。

これからの新しい人工内耳や補聴器、手術、両耳装用効果の話など、医療面・心理面の話がありました。その中で印象的だったのが、「自分の聞こえの取扱説明書（トリセツ）を作る」という話。自分はどんな聞こえの状態なのか、どのように接してほしいかを（例：ゆっくり、はっきり話してください、手話・筆談をしてください、など）わかりやすく理解してもらおうという方法です。

2日目は全体会で、午前は記念式典、午後は露の団姫（つゆのまるこ）さんという、落語家で天台宗の僧侶とご主人の太神楽（だいかぐら）曲芸師で、発達障害をお持ちの豊来家大治朗（ほうらいやだいじろう）さんの講演・公演・対談でした。楽しいお話の中で、互いの違いを認め合うことの大切さを教えられた内容でした。

内容がびっしり詰まった2日間で、大変参考になる研修でした。

来年は大分県で開催するそうで、大分の実行委員の方々が「毎日が地獄です。」というおそろいのTシャツを着ていたのが面白かったです。



きれいな琵琶湖の風景に思わずパチリ！

## <聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会>

11月13日(水)～15日(金)、岩手県にて開催された、聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会に参加しました。

講演は(株)プラスヴォイスの三浦宏之氏と筑波技術大学教授大杉豊氏のお2人でした。コミュニケーション手段としての映像、社会資源としての映像…。映像活用の具体例をお聞きし、“映像”に対する見方が大きく拡がりました。開催地である岩手県の映像制作の取り組みの発表や、グループに分かれての映像制作の時間もあり、実りの多い3日間でした。

## 【センターからのお知らせ】

4年半以上にわたり当センターの事務を担当してきました菅井美穂が11月末に退職致しました。菅井に替わり、これまで非常勤職員として勤務していた渡邊登紀子が事務を担当します。また、新しい非常勤職員として池田祐子が加わりました。これからも川崎市聴覚障害者情報文化センターをよろしくお願いいたします。

## <休館日のお知らせ>

休館日は毎週月曜日と祝祭日です。  
月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日も休みとなります。(  休館日)

## ビデオ通信 72



### ●貸出ベスト5

(2019年10月1日から12月31日現在)

| 順位 | ジャンル別   | 本数   |
|----|---------|------|
| 1位 | センター制作分 | 123本 |
| 2位 | 記録・報道   | 9本   |
| 3位 | スポーツ    | 6本   |
| 4位 | 映画・ドラマ  | 4本   |
| 4位 | 手話      | 4本   |

### ●データ紹介

|        | 10月        | 11月        | 12月        | 合計           |
|--------|------------|------------|------------|--------------|
| 来所者数   | 2134       | 1,790      | 1,327      | 5,251        |
| ビデオ貸出数 | 50<br>(31) | 44<br>(35) | 66<br>(57) | 160<br>(123) |

※ビデオ貸出数の下の( )内の数は、センター制作分の貸出数です。

### 2020年1月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

### 2020年2月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |

### 2020年3月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |

### 2020年4月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |

※当センターに駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

川崎市聴覚障害者情報文化センター  
代表 (T) 044-798-8800 (F) 044-798-8805  
〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町14-16  
(交通機関 / 東急東横線 元住吉駅下車徒歩 10 分)

( 部屋の貸出等管理 ) (T) 044-798-8800 (F) 044-798-8805  
( ぶらぶら相談・難聴者相談 ) (T) 044-798-8802 (F) 044-798-8804  
( 手話通訳・要約筆記派遣 ) (T) 044-798-8801 (F) 044-798-8803

ホームページ <http://www.joubun.net/>  
ツイッター <https://twitter.com/DKawasakiJoubun>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/Dkawasakijoubun>

ツイッター 時々つぶやいています☆  
<https://twitter.com/DKawasakiJoubun>  
フェイスブック  
<https://www.facebook.com/Dkawasakijoubun>